

びわ湖への思い

企業局×SDGs

SDGsって？

最近、SDGs(エスディーゼーズ)という言葉をよく耳にしませんか？
SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略で、持続可能な開発目標という意味です。
2015年9月の国連サミットで採択されたもので、以下のマークに書かれている17の大きな目標とそれを実現するための169のターゲットで構成され「誰一人取り残さない」ことを誓っています。
簡単に言うと、「世界が長続きするための目標」で2030年の実現を目指しています。



これまでの活動内容

つくる

ペットボトルのごみを減らすためにマイボトルを無料で配布しても、ごみが増えるだけでは？

→子どもたちが大人に贈る「世界にひとつだけの捨てられないマイボトル」を作ろう！



幼稚園の卒園制作でマイボトルを家族にプレゼントしたり、夏休みのイベントとしてびわ湖大津プリンスホテルなどの協力を得て、マイボトルを作るイベントを実施しています。



マイボトル活動の詳細はこちら



のむ

マイボトルを持ち歩くときにいれる飲み物ってなんだろう？

→水道水のことや、水道水で作れる美味しい飲み物のことを知ろう！



水道のことを理解していただけるよう、子どもから大人まで水道水のことを学べる動画を制作したり、水道水を使って、家で作った飲み物を持ち歩いて楽しんでもらえるよう、「ハーブウォーターの作り方」講座を開催しました。



動画はこちら



これから実施予定の活動

いれる

空になったマイボトルに飲み物を補給できる場所はあるの？

→市内には冷水機が設置されている施設や、持参したマイボトルに飲み物を入れてくれる企業があります。
まだまだ少ないため、冷水機が普及できるような施策や、補給できる飲食店などを増やす活動を検討しています。



冷水機は、マイボトルに冷たい水を補給できることで、ペットボトルの利用を減らすことができることに加え、暑い夏を乗り切るための熱中症対策や、ビワイチに挑戦される方への冷たい水の補給などにも役立ちます。冷水機だけでなく、カフェなどのお店で気軽にマイボトルに補給してもらえるような仕組みも検討しています。

イメージ図



提供：一級建築士事務所MOA

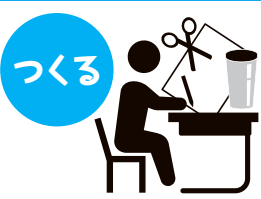


みんながマイボトルをもちあるくようになれば、どんな未来になるだろう？
生活に欠かせない水道水の水源である**びわ湖**を守るために、簡単にできることから始めてみよう♪

企業局が取り組むSDGs

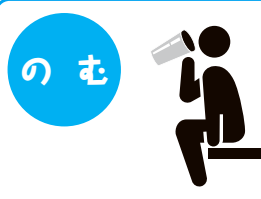


水道水の水源であるびわ湖のプラスチックごみをなくすためにマイボトルを持ち歩くライフスタイルを提案しています



世界にひとつだけのマイボトル制作

- 物への想い入れを持つ
- ゴミにならない物を作る



水の大切さがわかる動画制作やイベント

- 水道水(飲料水)の理解促進
- 家で作った飲みものを持ち歩く習慣づくり



給水スポットの環境整備

- 空になったマイボトルに給水できるスポットを整備する(公園への冷水機設置など)



- ◆ ペットボトルの環境負荷の低減
- ◆ 脱炭素社会の実現
- ◆ 琵琶湖の環境保全
- ◆ 水の地産地消

今、私たちが暮らしている世界は、のどが渇いたら、どこでも簡単に買える飲み物があり、便利な世の中です。しかし、ペットボトルで販売される飲み物に注目すると、製造から輸送、販売に至るまで大きなエネルギーを消費していることに加え、多くのプラスチックごみとして排出されている現状があります。また、近年びわ湖の湖底からも多くのプラスチックごみが見つかっています。

企業局では、水道水の水源である、びわ湖を守るためプラスチックごみの削減を目指す活動として、今できることを考えています。

滋賀県が取り組むMLGs

「琵琶湖は暮らしを映す鏡」

琵琶湖のすぐ近くにいる私たちがどのように暮らすかで、琵琶湖の環境も変わります。地球規模の取り組みでは何をしてもよいかわからなくても、琵琶湖のためにできる取り組みはできる気がします。琵琶湖版のSDGsである、マザーレイクゴールズから今できることを始めてみませんか？

